



【令和 6 年度補正予算額 886百万円】

PFAS対策技術実証事業の実施を通じ、技術開発を促進します。

1. 事業目的

- ①PFAS対策技術の実証事業を通じ、ばく露低減のための効果的な対策技術に関する知見を充実させ、ガイドラインを作成する。
- ②科学的知見に基づく情報発信やばく露評価を実施するために必要な調査を通じ、更なる安全・安心の確保を図る。

2. 事業内容

近年、PFOS・PFOAの目標値等を超過した地域において、高濃度の汚染土壌・排水・地下水等が確認され、また、国内外で様々な濃度低減の対策技術が提案され始めている。

このため、PFAS対策技術の実証事業を実施し、濃度低減に資する効果的な対策技術の知見を集積する。これらの知見をもとに実用可能性の高いガイドラインを作成する。

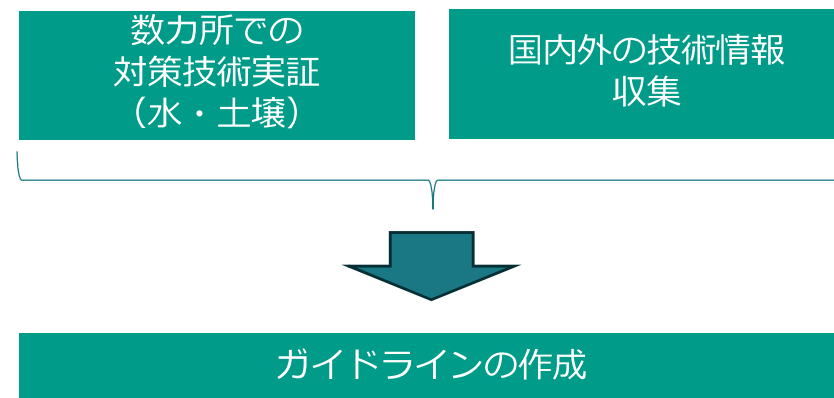
また、科学的知見に基づく情報発信（リスクコミュニケーション）や、ばく露評価を実施するために必要な調査等（PFASの一斉分析法の開発や測定など）を行う。

3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業、委託事業
- 請負先・委託先 民間事業者・団体
- 実施期間 令和 6 年度

4. 事業イメージ

①PFAS対策技術の実証等



②情報発信（リスクコミュニケーション）、ばく露評価